

社会福祉学研究科の学修成果の評価及び修了の基準

学修成果の評価

弘前学院大学大学院学則第14条に基づき、成績の評価は、各授業科目について、優、良、可、不可の4種類の標語をもって表わし、これらのうち、優、良、可を合格とする。

履修課程と修得単位

社会福祉学研究科人間福祉専攻の履修課程と修得単位数とは、人間福祉特論科目として、キリスト教社会福祉に関する特論科目2単位と、領域別の特論科目20単位、演習科目4単位と、実習科目4単位の3分野から成っている。修士課程修了に要する合計単位数は30単位である。

修了要件と学位授与

弘前学院大学大学院学則第15条に基づき、修士課程の修了要件は、本大学院に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。課程修了の認定は、同学則第16条に基づき研究科委員会の議を経て学長が行う。

本研究科の修士課程を修了した者には、同学則第17条に基づき修士(社会福祉学)の学位を授与する。

修士論文の査定と合否

(1) 修士論文の指導と提出

修士論文の作成に当たっては、指導教員の指導の下に論文題目(論題)を設定することが必要である。

そこで1年次は、各自の入学時における事前の研究計画をベースにして、さらに各特論講義の聴講と教員との個別的なコミュニケーションを通して、指導教員の選択と論題の構想を練るための準備期間とする。

2年次には5月末日までに指導教員の決定をして論題の登録をすることとする。事後は指導教員が担当する人間福祉演習(通年)を受講しながら、修士論文の作成をすすめるものとする。

修士論文の構想発表、中間報告等は指導教員のスケジュールに従い実施する。修士論文発表会は、12月中旬に公開して行う。

修士論文は別に定められた仕様を参考にして作成する。修士論文の提出は、修了年の1月15日とする。

(2) 修士論文の査定と合否

修士論文の成績評価は、提出論文の評価と面接による口頭試問の結果によって総合的に評価する。即ち論文評価得点30点以上、面接試問得点30点以上を必須条件として、最終的に修士論文の合否を決定する。論文査定は以下の10項目に関して重点的に審査する。

論文の評価は以下の10項目についての5段階評定方式によるが、総点を50点満点として30点以上を合格域とする。

- ① 研究の背景、研究目的が明確に記されている。
- ② 先行研究のレビューが十分に行われている。
- ③ ②を踏まえた上で、問題が明確に設定されている。

- ④ 問題を解明するための適切な方法が選択され、それが明示されている。
 - ⑤ 全体が論理的に構成されている。
 - ⑥ 文章表現が適切である(引用の仕方、文献表記の仕方も含む*)。
 - ⑦ データや資料を分析する際の処理が適切である。
 - ⑧ 問題設定に対応した結論が示されている。
 - ⑨ 新しい知見が含まれている。
 - ⑩ 表題が内容を適切に表現している。
 - ⑪ 研究倫理についての配慮が適切になされている。
- * 引用の仕方、文献表記の仕方は、日本社会福祉学会機関誌『社会福祉学』に準ずる

(3) 修士論文に関する面接試問

修士論文の面接試問は、主として論文に関係する事項について行うが、関連して研究者としての資質、パーソナリティと態度などの印象も参考にする。

面接試問の評価は、以下の10項目についての5段階評価方式による。総点は50点で30点以上を必須条件として合格域とする。

- ① 研究計画の説明・表現力に関して研究計画の内容を簡潔に話せる。
- ② 研究目的、具体目標を即座に陳述できる。
- ③ 結果を簡潔に陳述できる。
- ④ 聞きやすさと分かりやすさ、話の間のよさ、説得力のある話し方と顔面表情。
- ⑤ 謙虚で誠実な傾聴態度がみられる。
- ⑥ 質問に対する応答、フィードバックする能力(自己の研究計画の不十分な点や残された問題の気づきと指摘など)
- ⑦ 研究者としての志向性と態度に関して研究活動・学問への情熱、意欲がみられる。
- ⑧ 研究に取り組む際のねばり、こだわり、ひたむきさがある。
- ⑨ 問題意識水準の高さと問題中心の思考態度、思考内容のまとまり具合
- ⑩ 問題処理過程での分析・総合力と思考水準の高さ、思考の深まりと意識の清明さ

大学院社会福祉学研究科修士論文様式

1. 黒のペンまたはワープロを使用した論文を提出すること。
2. ワープロ使用の場合は、用紙1枚の字数は、400字から800字を基準とする。
3. 目次、前書き、後書き、巻末引用・参考文献は、本文に含めない。
4. 字数(枚数)及び部数は、下記の通りとする。

		論		文	
部数	枚 数		書 式	備 考	
	400 字詰横書原稿用紙	ワープロ			
3部	100枚以上	40,000字以上	注)横書A4版	部数3部のうち1部原本とし、2部はコピーでもよい	

5. 研究指導経過報告書1部提出
6. 表紙の様式

論文の表紙は、黒の厚紙、縦の左綴じまたは左バインダー綴じとする。

以上